

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(240)(HP 収載) —ブレンデルのリストの「巡礼の年」—

1. 始めに

前報(239)に引き続き、STAGE+のブレンデルのリストの「巡礼の年」の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のブレンデルのリストの「巡礼の年」の演奏を選びました。

ブレンデルが奏でるリストの「巡礼の年」

コンサート

楽曲の本質に迫る

収録日: 1986年3月31日

ドイツ語圏の作品を最も得意とするピアニストのアルフレッド・ブレンデル。バートヴェンやシューベルトなどで数多くの名演を遺していますが、彼はフランツ・リストにも深い愛情をよせていました。なかでも本映像の「巡礼の年」は好んで取り上げた作品です。楽曲に対する深い知識と解釈、そしてそれを音として形にする技術と表現力に驚かされることでしょう。楽曲についての新たな発見と感動、ブレンデルの研ぎ澄まされたピアニズムを存分にご堪能ください。

ソリスト:

アルフレッド・ブレンデル (ピアノ)

フランツ・リスト 《巡礼の年第1年:スイス》 S. 160

フランツ・リスト 《巡礼の年第2年:イタリア》 S. 161



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

リストの《巡礼の年第1年スイス》と《巡礼の年第2年タリア》は、ともに技巧を要する派手なリストのピアノ曲らしくない思索的な、あるいは敬虔な印象を与える曲です。

ブレンデルは、アナログ盤の演奏でお馴染みであり、淡々と街いなく弾いており、この曲の宗教色を反映した演奏です。ところどころにブレンデルらしい美しいフレイジングが聴かれます。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、敬虔な宗教色を現した印象を与えてくれます。

以上